

建築士と考える住まいスクール2010 (永く住み続けられる住まい)

「我が家に活かす古民家の知恵～みんなで考えよう。茅葺き民家のリフォーム提案」

あえて中古住宅をリノベーションする。そんな自分スタイルにこだわる若い世代が、家族構成やし好の変化、住宅設備等の進歩に合わせて、形を変えながら住み続けられる家があれば…。今回はフレキシビリティに着目。可変性に優れた伝統的な日本家屋を自分たちの暮らしに合わせたスタイル(間取り)に変えるワークショップを行い、一般市民と建築士それぞれの立場から検証しました。

開催日：平成22年5月23日(日) 13:30～16:30 天候 雨

会場：旧内田邸(北区鈴蘭台西町6丁目 / 神戸電鉄鈴蘭台駅徒歩20分)

(江戸時代中期の茅葺民家 / 県指定重要文化財)

参加者：一般市民16名(神戸市北区役所職員2名、読売新聞記者1名含む)

スタッフ：兵庫県建築士会神戸支部情報企画委員会 11名、

神戸市教育委員会文化財課 3名、すまいるネット 2名



内田家外観

1) 内田家住宅の説明、スケジュール説明

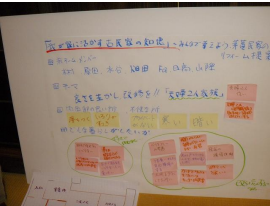
・神戸市教育委員会文化財課学芸員による現存する文化財古民家・旧内田家の説明。
・情報企画委員会委員による伝統的な日本家屋の特徴である建具についての講義。



内田家の説明



建具についての講義



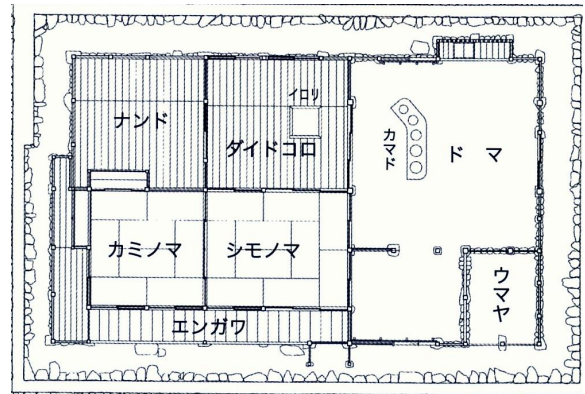
2) ワークショップ

班分け(4班)後、平面図を持って伝統的な日本家屋に触れながら、内部を探索。自分たちのスタイルにあった間取り変更のイメージを膨らませてもらいました。

「旧内田家に住むとしたらどのように改修するか」
永く住み続けられる住まいづくりについて、伝統的な日本家屋・古民家の知恵を自分たちの暮らしに合わせ現代の家に取り入れる方法など、建築士を交えて、自由、活発に話し合っていました。



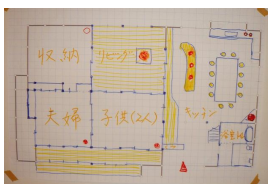
カマドでお湯を沸かし、イロリで餅を焼く



3) 自由討議の検証

「ぜんざいタイム」をはさみ、古民家のリフォーム案を各班の代表者が発表し、各案について参加者と建築士が意見交換し、検証しました。

班毎のワークショップ記録を掲示、参加者スタッフ全員による投票で、「伝承する家」～3代仲良く暮らし、技術を伝承できる家～がBEST PLANに選ばれました。



他3班のプラン

